



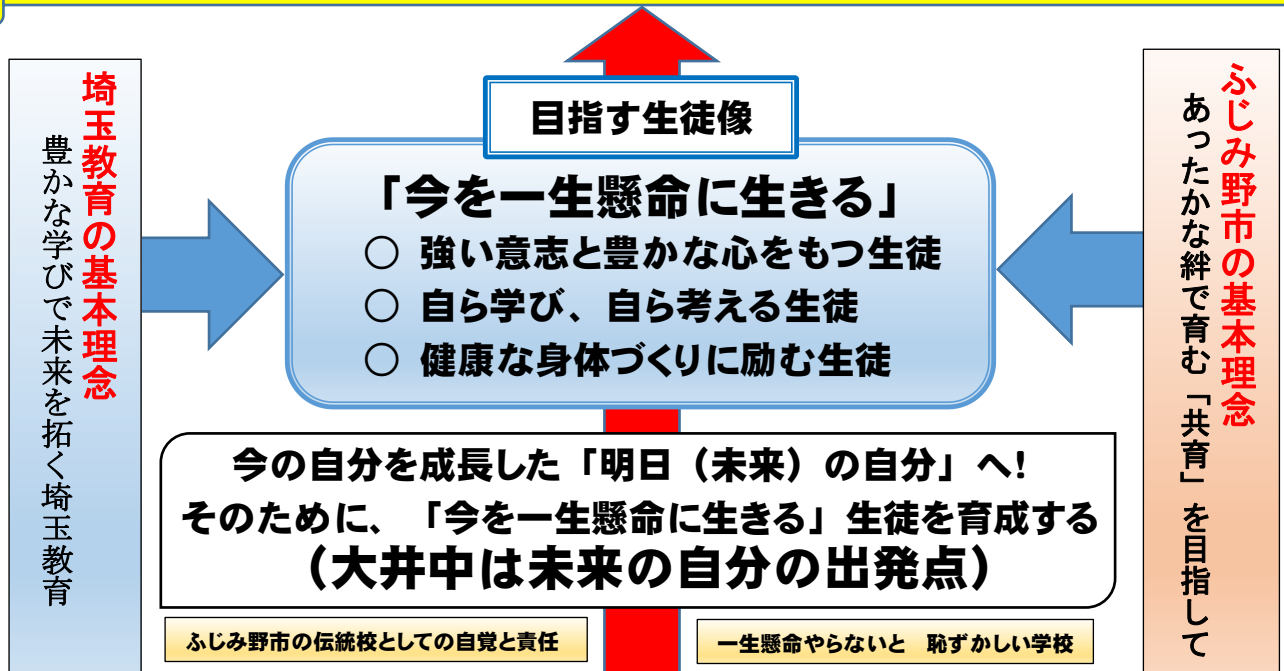
## 基本理念

日本の将来を担う人財の育成を目指し 知、徳、体のバランスのとれた生徒の育成

## 教育理念

- I どの生徒もみがけば輝く宝である。その生徒の良さを発見し、伸ばすための効果的な指導を行うのが教師であり、学校である。
- II 学校とは、集団の中で、子供たちの生きる力を育み、夢を実現しうる力を身につけるために計画的・組織的に教育活動を進めるところである。

## 学校教育目標 「心豊かでたくましい生徒」



## 生徒一人一人が輝き 笑顔あふれる学校

- ◇元気なあいさつ
- ◇明るい歌声
- ◇感謝する心

すべての生徒が明るく元気に登校でき、満足して下校できる学校

## 大井中学校が目指す10の学校像

～ 自信と誇り そして愛着の持てる大井中に ～

- ① 授業を大切に、ICTを有効活用して、学ぶ喜び・意欲にあふれた学校
- ② 思いやりのある豊かな心が育まれ、安心して活動できる学校
- ③ あいさつ、返事、感謝の言葉で心通う学校
- ④ 生徒一人一人を大切に、鍛えはぐくみ可能性を伸ばす学校
- ⑤ 行事や部活動に燃え、生徒が主役で達成感や成就感が得られる学校
- ⑥ 夢や志を抱き、未来を切り拓く生徒を育てる学校
- ⑦ 歌声が響き、心がつながる学校
- ⑧ 清掃が行き届き、花や緑に囲まれた彩りのある学校
- ⑨ 施設の安全管理、生徒の健康管理・コロナ対策が行き届く、安全で安心な学校
- ⑩ 家庭・地域との絆を深め、学校・家庭・地域が協働して子供を育てる学校

生徒・教職員が大井中を好きになり  
登校・出勤が楽しみになる学校

「大井中で良かった」と誇りを  
持って言える学校

# 大井中学校が目指す10の学校像

目指す教師像：全ては子供たちのために、全教職員が一丸となって

## 「教師は最大の教育環境」

- ・教科指導のプロとして、生徒に力をつけさせるために授業の工夫・改善に努める教師  
(GIGAスクール構想を意識した、積極的なICT機器の活用)
- ・豊かな人間性と教育への情熱と使命感を持ち、生徒を大切にする教師
- ・厳しさと温かさのバランスのとれた、生徒・保護者・地域・同僚に信頼される教師
- ・学校運営への参画意識を持ち、課題解決に向けて努力する教師
- ・チーム大井中の一員として、自覚と誇りを持って教育活動にあたる教師
- ・全体の奉仕者であるという意識を持ち、常に自己の資質・能力を高めようとする教師

## 学校教育目標 「心豊かでたくましい生徒」

生徒の「能力」を伸ばし「可能性」を开花させる教育

## 地域協働学校(学校運営協議会)

学校・家庭・地域の協働による学校運営の改善・教育活動の充実

## 学校経営方針

### 「全教職員の叡智と総力を結集した学校づくり」

- ・教職員一人一人が組織の一員としての使命感と自覚をもち、全員参画の学校づくりを展開する。(活力のある学校経営)
- ・報告・連絡・相談を確実にし、チームワークよく「和」を大切にして、学校の総合力を高める。(力を結集した学校経営)
- ・生徒の実態から構想し、実践し、その成果を生徒に還元するスパイラルな教育活動を展開する。(子ども発、子ども着の学校経営)
- ・教育環境を整え、コロナウイルス感染防止策を徹底した、潤いと温かみがある清潔な学校づくりに努める。(潤いのある学校経営)
- ・生徒の成長の基盤である家庭・地域や小学校と連携・協働して、次代を担う子どもたちを育成する教育活動を展開する。  
(共に学び、共に育つ学校経営)

#### 1 組織体としての「4つのワーク」の重視

- (1) 職務を通して人間関係をつくるという意味で  
→「ワーク」
- (2) 何事も助け合い協力して行うという意味で  
→「チームワーク」
- (3) 即時適切な対応をしていくという意味で  
→「フットワーク」
- (4) 連携協力・情報の共有化という意味で  
→「ネットワーク」  
(報告・連絡・相談・確認・調整・啓発)

#### 2 大規模校の特徴を生かす(組織面)

- (1) 運営委員会・各部会の充実→リーダーの育成
- (2) 各種チームによる指導力の向上(年間)
- (3) OJTによる指導力の向上
  - ①職員会議
  - ②運営委員会
  - ③学年会議
  - ④教科領域会議
  - ⑤各種チーム会議
  - ⑥日常的な会議・論議
- (4) PDCAサイクルによる学校評価を適時適切に実行し、常に改善を加える。
- (5) 諸活動に常に工夫を加える。  
(従前主義の廃止)

#### 【本年度の指導の重点・努力点】

- (1) 主体的・対話的で深い学びを実現し、確かな学力と自立する力の育成
- (2) 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進
- (3) 安全・安心で笑顔あふれる教育の推進(コロナ感染防止対策の徹底)
- (4) 地域協働学校・小中学校連携を活用した「共育」の推進

# 1 主体的・対話的で深い学びを実現し、確かな学力と自立する力の育成

## ① 学力の向上

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現させるため、教師一人一人が授業改善の工夫や実践を行う。そのために、学びの過程「どのように学ぶか」を組み立て、「学びの改革」を推進する。
- ・生徒が学習の見通しを立てたり、学習を振り返ったりする活動や生徒同士がお互いに学び合う活動を取り入れるとともに、補足的な学習を行うなどして、学習内容の確実な定着を図る。（「何を学ぶか」を深く理解し、「何ができるようにするか」を身につけ、生涯にわたって能動的〔アクティブ〕に学ぶ生徒の育成）
- ・知識及び技能を確実に習得させるとともに、これらの活用を図る学習活動や言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力等を育むように努める。
- ・生徒にとって「わかった」「できた」という学ぶ喜びと、「もっとやりたい」という意欲を与える授業を推進する。そのためにICT機器を積極的に活用し、生徒の関心・意欲を高める指導・評価の工夫・改善を行う。
- ・集中し、意欲的に学習を進めるために授業規律の徹底を図る。（大井中授業七箇条の徹底）

## ② 進路指導・キャリア教育

- ・3年間を見通した進路指導の一層の充実を図り、各学年の発達段階に応じた指導を行うとともに、生徒一人一人が自己実現に向けて進路を探索・選択ができるよう、生徒の能力や適正を的確に把握し、指導・援助をする。
- ・学ぶことや働く事への関心や自己理解を深め、将来の夢と希望の達成を支援するための体験的な活動を積極的に設ける。（**学校運営協議会の支援・協力**）
- ・進路指導を「生き方指導」と捉え、今を大切にしながら根気強く努力し、将来にわたる「生き方」を追求させる。

## ③ 特別支援教育

- ・生徒一人一人の障害の状態及び特性等に応じて、具体的な指導目標及び指導内容・方法を明確にした個別の指導計画に基づき、特別な教育課程を編成し、きめ細やかな指導を行う。
- ・個人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な合理的配慮を行い、障害の特性等に配慮しながら学習指導・生徒指導・進路指導等、総合的な支援を行う。
- ・特別支援教育コーディネーターを組織的に機能させ、校内就学支援委員会を積極的かつ有効に活用する。

# 2 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進

## ① 生徒指導・教育相談

- ・自己指導能力の育成をめざすため、全教育活動において「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」「自己決定の場を与える」ことを意図的、計画的に設定する。
- ・凡事徹底（あいさつ、時間を守る、TPOをわきまえた言葉遣いや服装など、教員・生徒が考える凡事に対しての指導徹底）ダメなものにはダメという毅然たる姿勢で取り組む。
- ・集団としてのルールやマナーを尊重し、基本的な生活習慣の確立と校内規律の維持を図る。（「大井中学校生徒指導提要」による共通理解と共通行動）
- ・報告・連絡・相談を密に行い、教職員相互の意思疎通を図り、共通理解、共通実践を心がけ、一致協力した指導体制のさらなる強化を図る。
- ・全ての教育活動で教育相談的配慮をするとともに、定期的な教育相談を計画し、生徒が相談しやすい環境をつくる。
- ・いじめについては、校内体制を確立し、いじめの早期発見とチームを組んでの即時対応・解決に当たるとともに、日常の「いじめを許さない空気」の醸成を図る。（生活アンケートの有効活用）

## ② 豊かな心の育成・道徳教育の充実

- ・学校行事、総合的な学習の時間、地域活動等を通して、自然体験、勤労体験、奉仕体験等、多様な体験を積むことにより、生徒の豊かな個性を育む。（**学校運営協議会の支援・協力**）
- ・道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の人間としての生き方についての考えを深める学習指導を充実するとともに、適切な評価を行う。
- ・自らを律しつつ、他人とともに協調して、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育成する。

## ③ 特別活動・学校行事・部活動等

- ・学校行事、学年行事、生徒会活動、部活動など、生徒一人一人のもつ能力や個性を発揮させる場を設定し、生き生きとした活動ができるよう活動内容を充実させる。
- ・学校行事では、学級のまとまりや達成感や成就感を大切にし、意欲的、積極的に行事に取り組めるよう全教職員で組織的に取り組む。その中で、生徒の力を最大限に引き出し、感動を深める学校行事を展開する。
- ・望ましい集団活動を通して集団の一員としての自覚を深め、協力して生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てる。

#### ④ 学年・学級経営

- ・学年・学級活動や学校行事、生徒会活動等の特別活動を通して、生徒が主体となる活動の機会を設定することに努め達成感、所属感、連帯感をもたせるとともに、リーダーを育成する。
- ・「自分が必要とされている存在」であると実感できるようにするとともに、自己を生かし、自己実現を図ることができるよう活動を工夫する。（「自尊心」と「自己有用感」の育成）
- ・教師と生徒、生徒同士の望ましい人間関係を育て、一人一人の「良さ」を認め合い、支え合う学級・学年集団づくりに努める。
- ・学級における問題を、話し合い活動（学級会）を確実に実施して解決する。その過程を通して、生徒が自分たちの力で学級生活をつくり上げていく力を育てる。→ 自分たちの問題を自分たちで解決できるスキルと意識と態度形成。

#### ⑤ 健やかな身体の育成

- ・健康の大切さを認識し、健全な身体を育成するため、学校の教育活動全体を通して、計画的・継続的に指導を行う。
- ・健康教育と安全教育を学校全体で取り組み、生徒の健康・安全に対する態度を育成する。

### 3 安全・安心で笑顔あふれる教育の推進（コロナ感染防止対策の徹底）

#### ① 環境整備

- ・「人が環境をつくり、環境が人をつくる」という言葉をふまえて、物的環境、人的環境づくりに努める。
- ・持続可能な社会をつくり上げるために、E S D（持続可能な開発のための教育）の視点を取り入れた新たな環境教育（SDG s等）に取り組む。
- ・季節の花で彩られ、潤いのある美しい環境づくりに計画的・組織的に取り組む。（**学校運営協議会の支援・協力**）
- ・教育環境（整理整頓、清掃活動の徹底、教室内の環境）を整備し、教育的に価値のあるものにする。（**4 S 活動**）
- ・生徒が安全に安心して学習できるよう学校施設・設備の安全管理の徹底と迅速な修繕に努める。

#### ② 学校運営

- ・生徒が生き生きとした学校生活を送ることができるよう、教育目標や重点目標を設定し、校長を中心に全教職員の創意を生かし、学校運営協議会の支援・協力を得ながらその実現に努める。
- ・各学校行事及び、学年・学級経営、各分掌運営・授業等の学校教育活動においてP D C Aサイクルの意識を持って取り組む。（学期ごとの短期C-Aを繰り返し、課題解決に向けた有効な対応策の検討と実践）
- ・教職員一人一人が組織の一員としての使命感と自覚をもち、全員参画の学校づくりを展開する。

#### ③ 教職員の資質及び危機管理意識の向上

- ・教員の資質の向上を目指し、経験に応じた研修の充実を図るとともに、学校の教育課題を明確にして校内研修を積極的に推進し、創意を生かした特色ある教育活動の充実に努める。
- ・日常的な職務を通して、必要な知識や技能、意欲、態度などを組織的・計画的に継続的に高めていく取り組み（O J T）を通して指導力の向上を目指す。
- ・危機管理意識の高揚と緊急対応マニュアルの共通理解と見直しを図るとともに、学校施設設備の日常・臨時・定期安全点検を実施する。
- ・実践的な避難訓練を実施し、教職員・生徒の危機意識・防災意識の向上を図る。（**学校運営協議会の支援・協力**）
- ・倫理確立委員会や事例研修により、「教職員事故ゼロ」を徹底する。

### 4 地域協働学校・小中学校連携を活用した「共育」の推進

#### ① 家庭・地域との連携

- ・保護者・地域住民の授業や行事等への参画・参加を企画し、学校を中心とした地域コミュニティの活性化に努める。
- ・家庭・地域との情報交換を密にし、相互理解を深め、保護者と共通のねらいを持って教育活動を行う。
- ・課題に立ち向かい、乗り越えるための知恵と実行力を生み出していくために「熟議」を実施し学校・地域がどう子供たちと関わるができるかを学校運営協議会で考える。（**学校運営協議会の支援・協力**）
- ・誠意ある対応（迅速・的確・誠実）に心がけ、家庭や地域から信頼される学校となるように努める。
- ・学校と家庭・地域との連携にあたり、広報活動を工夫するなど、子供の学校と地域での活動の様子を積極的に発信する。

#### ② 小中連携

- ・大井中学校区小・中連携協議会を組織し、生徒指導対応チームにより、暴力行為、いじめ、不登校を未然に防止する。
- ・開かれた学校づくりを一層推進し、地域の小学校との協力関係を一層密にすることで、9年間での計画的・継続的な指導・協力体制を構築する。
- ・小学校と中学校の連続性を捉え、小中連携活動を積極的に進め、学校課題の解決を図るとともに円滑な接続を目指す。